

令和四年・第三回定例会

補正予算可決

九月六日～七日

議案第55号

令和4年度 標茶町一般会計補正予算
124億2,836万円(1億7,072万円の追加)

議案第56号

令和4年度 標茶町国民健康保険事業
事業勘定特別会計補正予算
11億7,865万8千円(9万円の追加)

議案第57号

令和4年度 標茶町介護保険事業
特別会計補正予算
8億8,005万円(2,785万6千円の追加)

議案第58号

令和4年度 標茶町病院事業会計補正予算
歳入を14億8,659万3千円(3,075万円を追加)
歳出を15億5,722万6千円(3,075万円を追加)

議案

〔条例制定〕

議案第51号

標茶町税条例の一部を改正する条例の制定について

法律の改正にともない文言の整理をしました。

議案第52号

標茶町公民館条例等の一部を改正する条例の制定について

町有施設の年末を12月28日までとし、年始を1月4日とする。に改正しました。

議案第53号

標茶町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

条例中に「及び第3号」を追加しました。

議案第54号

標茶町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
条文中の文言の整理をしました。

条例以外

選挙第1号

釧路公立大学事務組合議会議員の選挙について

前任者辞退にともない松下議員が選出されました。

報告第9号

専決処分した事件の承認について
令和4年度標茶町一般会計補正予算を122億5,764万円(2,970万円の追加)としました。

議案第48号

標茶町表彰条例に基づく被表彰者の決定について
在任功労表彰96名、善行表彰2法人、勤続表彰2名。



議案第49号

財産取得について

財産の種類・数量

特殊入浴装置 一式

取得の目的

利用者の入浴サービス提供に係る特殊入浴装置購入

取得金額 924万円

取得の相手方 株式会社メルプ

議案第50号

工事請負契約の締結について

契約の目的

標茶中茶安別線道路改良舗装工事

契約金額 2億4,310万円

契約の方法 指名競争入札

契約の相手方

明盛・藤原特定建設工事共同企業体

業体

議案第59号

固定資産評価審査委員会委員の選任

について

高橋春男氏が選任されました。

議員提案第2号

標茶町議会議員定数等調査特別委員

会の設置について

標茶町議会議員定数等調査特別委員会が設置されました。

一般質問

町政を問う

深見 迪 議員

「プラスチック資源循環促進法」に基づく具体的な取り組みの強化を

深見 迪 議員

給食費無料化の実施を

町長 前向きに検討すべき課題である

問 北海道教育委員会は「昨今の物価高騰を受け、学校給食に対する保護者への負担軽減に取り組み」としています。また、本町でこの北海道の取り組みに関してどのような内容か。また、本町釧路管内では、給食費負担軽減に対する積極的な取り組みが進められているが、給食費無料化の市町村の状況について、どのような内容か。

本町でも、北海道教育委員会の指導や管内の取り組みを参考にし、給食費を無料化してはどうか。



答 北海道教育委員会では「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、学校給食等の保護者負担軽減に向けた取り組みを進めるよう要請があり、本町においても6月定例会に補正予算を提案、給食費を支援する取り組みを実施している。

給食費無料化の実施については、財政面の課題が発生するが、管内では過半数の自治体で実施していることを踏まえ、前向きに検討すべき課題と認識している。

問 最近では、プラスチックによる海洋汚染が地球規模で大きな問題となっている。食卓に上がる食品にもすでにプラスチックが混入していると聞けが、この問題について町長の所見を聞く。

今年の4月に施行されたプラスチック資源循環促進法について、本町では新たな取り組みをしているか。

3R+1Rの取り組みを徹底すべきと考えるが、本町の実態はどうか。本町では消費者のみならず、全町的な取り組みが必要と考えるがどうか。



答 プラスチックの生産量は世界的に増大しているが、それにより海洋のゴミも増大し、生態系も含めた海洋環境の悪化や、漁業環境などへの影響など様々な問題を引き起こしており、世界全体の課題として対処していく状況にある。

本町のゴミの回収については、現在、ペットボトルとプラスチック容器、包装に分けて分別して回収している。3R+1Rの本町の取組みについては、町広報誌やゴミの減量化、分別の徹底について周知しており、町民の協力も得ている。

高齢者への補聴器購入助成制度の導入を

深見 迪 議員

問 本町の加齢性難聴者は年々増加していると思うが、その状況を把握しているか。

聴力が落ちたことを放置していると、さまざまな生活上の危険が生じることや、日常生活動作（ADL）の低下により、自立した生活力が著しく低下してしまっても明らかであると考えざるがどうか。

現在、我が国の加齢性難聴者の補聴器の普及は、諸外国に比べ極めて遅れている。

本町として国の施策をただ待つのではなく、補聴器購入助成制度の導入をすべきではないか。

答 令和2年度に普段の生活で人の声や音が普通に聞こえるかとのアンケート調査を実施したが、その回答から推計すると高齢者の難聴は認知症の発症に影響があるといわれており、自立した生活が低下する要因の一つと考えている。

補聴器の装用は効果はあると考えは、国の公的補助として制度化されることが望ましいと考えている。



補 聴 器

黒沼 俊幸 議員

「憩の家かや沼」工事の完了と今後の経営はどうなるか

町 長 計画に沿って進めていく

問 改修後の指定管理者に決まっている「永寿優企画」は4企業体の法人として登録されているか。「憩の家かや沼」で新しい温泉ボーリングが掘削されたが、地権者の協力が得られないため排水パイプは使用できないと聞いている。今後どのような方法で温泉の配水をするのか。次に設計費から本体工事さらには附帯工事、配水工事の費用のすべてと、開業予定の日程を伺う。

働させていない状況である。今後の排水の放流条件につきましては、土地所有者と合意に至らず新たな放流方法を検討している。

基本実施設計で、43,956千円、建築主体・機械設備・電気設備・改修工事管理費で、10億4,834,4千円、厨房機器購入で748万円、外構調査設計で891万円、外構工事費で4,400万円、施設デザイン設計費で10,841,600円、合計で、11億6,353万1,600円となる。

施設周辺だけではなく茅沼地区一帯についても再整備し磨き上げていきたい。

答 経営シミュレーション・アクティビティの開発等協議を進めており、法人化の手続きの準備を進めている。

令和4年3月末に掘削が完了しているが、自噴しない温泉であり、ポンプによるくみ上げの為、現在は稼



憩の家かや沼の客室

災害に対する今後の取り組みについて

鴻池 智子
議員

町長 町内会の皆さんと一緒に本町の防災力を高めていく

問 最近では短時間で大雨が降り、川の増水で小規模ではあるが土砂が流出している。最近はコロナ感染症対応のため町としてこの避難訓練は実施していないがこれから台風等による長雨、又道内でも地震が多く発生している事も考え様々な事を想定した準備が必要と考える。

① 感染防止を徹底した受付・誘導について

② 車中避難者への対応

③ 地震による停電・断水により、水洗トイレが使用出来ない場合の対策として災害仮設トイレの設置

④ 避難所設営に避難者も関わる運営

以上4点について伺う。

答 様々な災害に対する備えが必要と認識し、1点目の感染防止対策については、各避難所に受付・運営に必要な物品を一括揃えたボックスを準備し、また、非接触式の感染

対策用品を用意している。全避難所の平面図を基に配置図等のマニュアルを策定中である。

2点目の車中避難者対応については、食料・飲料水等を届ける体制、健康面配慮を検討しなければならぬと考える。

3点目の仮設トイレ設置であるが、本町は町内リース会社と災害時の優先物資の提供をいただく体制を構築している。国から、トイレの確保管理ガイドラインも通知されており、快適な避難所の整備充実に努めていく。

4点目の避難所運営ですが、今後とも町内会・ボランティア・町職員・避難された方々等と協力を願い運営していかなければならないと認識している。



標茶河川防災ステーション

渡邊 定之
議員

肥料の価格コスト上昇分全額補てんの手立てを

町長 町による上乘せ補てんは考えていない

問 岸田首相が7月14日の記者会見で発表した肥料価格上昇分の7割を補てんする新たな支援金の概要が明らかになった。

農水省の説明によると、前年と比較して肥料コスト上昇分の7割を補てんする。秋や春に使う肥料への影響に対応できるように6月に遡って対処する。都道府県とJAでつくる協議会を通じて支給するというものだ。

ただし「化学肥料2割低減」を支給条件としたことで、土壌診断など余計な出費の発生で7割補てんではマイナスになりかねないなどの声が農家などから寄せられている。以上の点から次のことを聞く。

政府に対し条件を無くし、上昇分全額を補てんするよう求めるべきではないか。

また、本町としても関係諸団体とも協議し、上昇分の全額補てんとな

るよう補正も含めて早急に検討してはどうか。

答 内閣は肥料価格の高騰対策として、788億円の予備費で対応することを決定した。支援の内容としては、化学肥料の低減に取り組む農業者に対し、肥料コストの上昇分の7割を補てんするというものであり、確実に補てんされると理解している。

生産コスト上昇分に対する緊急的な支援については、国や業界団体が課題を整理したうえで必要な措置を講ずるべきと考えている。現時点では町による上乘せ補てんは考えていない。



渡邊 定之 議員

**飼料価格の高騰や牛の
個体価格暴落など酪農
危機の打開策を**

問 飼料価格の高止まりが続く中、牛の個体価格暴落により本町の酪農・畜産業はかつてないほど深刻な状況にある。基幹産業である酪農業について町長が把握している現状と今後の見通しと、打開策について所見を聞く。

町として基幹産業を守る立場から、関係する団体とも協議を重ね何らかの対策を講ずるべきと考えるがどうか。また北海道や国に対しての要望も併せて行うべきと考えるがどうか。

答 近年の国際的な穀物需要の増加やウクライナ情勢等に伴い、今年5月時点での配合飼料の平均価格は、1トン当たり8万9千円と過去最高を記録している。農家の厳しい状況が当面続くと考えている。個体販売価格までもが暴落し、酪農家にとってさらに負担が増える状況と理解している。

国による緊急対策事業と合わせ

て、草地整備や粗飼料の活用について関係機関と連携をして研究していく。また、北海道や国に対して、必要な支援について引き続き要請をしていく。

予算審査特別委員会

総括質疑

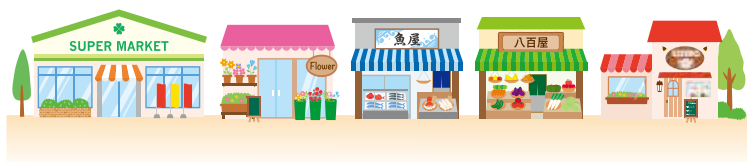
深見 迪 議員

「チャレンジショップ支援事業の更なる援助を」

問 「チャレンジショップ支援事業」について、「法人事業所における代表者の変更、親に代わり子または親族が経営者となる場合等、対象外となるものがある」と書かれてあるが、地域経済の活性化のためには、せつかくこの補助金制度を、様々な業者を含めて継承を進めていくことが必要であると思いつ。

だからこの対象外ということを取り払って、むしろ更なる援助をすることが必要ではないか。

答 新たな起業あるいはスケールアップするための店舗、事業所の改修等に投資された分については、補助金でバックアップする。



令和四年 第三回臨時会

〈補正予算〉

議案第47号

令和4年度標茶町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出を122億2,794万円(6,474万5千円の追加)としました。

〈その他〉

報告第8号

専決処分した事件の承認について
令和4年度標茶町一般会計補正予算(第3号)を歳入歳出
121億6,319万5千円(90万7千円の追加)としました。

議案第46号

財産の取得について

財産の種類・数量

除雪ドーザ

取得の目的

町道等の除雪に供するため

取得金額

2,749万8,194円

取得の相手方

北海道川崎建機株式会社